

畑中たましろ荘 2025年度 地域連携推進会議議事録

- ・法人名 社会福祉法人 東京聴覚障害者福祉事業協会
- ・施設名 グループホーム畑中たましろ荘
- ・開催日時 2026(令和8)年3月28日(土) 10:00~11:00
- ・開催場所 グループホーム畑中たましろ荘
- ・出席者

利用者	1名
地域関係者	1名
施設管理者	1名
法人事務局員(記録)	1名
(手話通訳者	2名)

欠席者

利用者家族	1名
経営に知見のある方	1名

【会議の内容】

1. 開会・挨拶・趣旨説明

「地域連携推進会議の4つの目的」について管理者から説明

- ① 利用者と地域の関係づくり
- ② 地域の人々の施設や利用者についての理解の促進
- ③ 施設やサービスの透明性・質の確保
- ④ 利用者の権利擁護

2. 自己紹介

3. 事業所の概要

1.①② 施設等・地域の連携、地域の人々の施設や利用者についての理解の促進

利用者の障害について…ろう重複障害とは

利用者と職員のコミュニケーション方法…手話、身振り、筆談、絵を用いる

近隣から来たことのある苦情…音(テレビや話し声)、雑草について

地域行事への参加について…お祭り、防災訓練、雪かき、美化清掃など

1.③ 施設やサービスの透明性・質の確保

- ・写真を用いて利用者の生活の様子を紹介

日中の仕事について(就労、通所)

グループホームでの過ごし方(買い物、行事参加、料理や部屋の片づけの支援)

- ・経営状況…利用者の定員が4人で、厳しい。加算をできるだけ取れるようにしている。

- ・BCP…作成済み。避難訓練の様子を説明。非常電源の紹介。
- ・課題：防犯カメラの設置

1.④ 利用者の権利擁護

- ・グループホーム全体の虐待の状況
- ・虐待防止のため、年に1回の研修を行っている。
- ・事故、ヒヤリハットが起きた際は必ず記録に残している。
- ・支援者について…世話人が5名、生活支援員が2名。

4. 質疑・意見、今後の予定

・この地域に障害者施設があることは、まだ広く知られていない。地域の人が集まる行事に参加することが大事。見ただけでは分からない障害のため、避難訓練の際はつけていた目印により、聴覚障害者であることが分かりやすかった。今後も行事に参加することで、施設の存在が知られていくと思う。

⇒地域の人への付き添いで10月の訓練ができるといいのでは。

⇒地域の方の集合場所から移動するのがいい。

- ・地域の知的障害者施設にも、どのような目印をつけているか参考に相談する。
- ・非常時・避難時の支援方法も職員間で共有すべきでは。

- ・近隣からの苦情(雑草について)

畑中たましろ荘近くの土地で、責任者は不明だが火事を心配する声などを受けて草刈りをしている。

⇒市道であれば青梅市の管轄。市役所に相談するとよい。

- ・資料の改善 利用者のため、ふりがなを付けるようにする。

今後の予定

- ・今後の会議はたましろの郷と合同で行う。(日程は未定)

5. 施設見学

利用者本人による居室の紹介、寄付を頂き近年改修した浴室・トイレなど。

まとめ

地域の方に当グループホームの存在意義や、利用者の障害特性などをご理解いただくことができた。また地域自治会の方からは災害時の連携についてのご意見も伺えた。利用者自身も生活状況について積極的に説明でき、地域の一員としての自覚につなげることができた。